

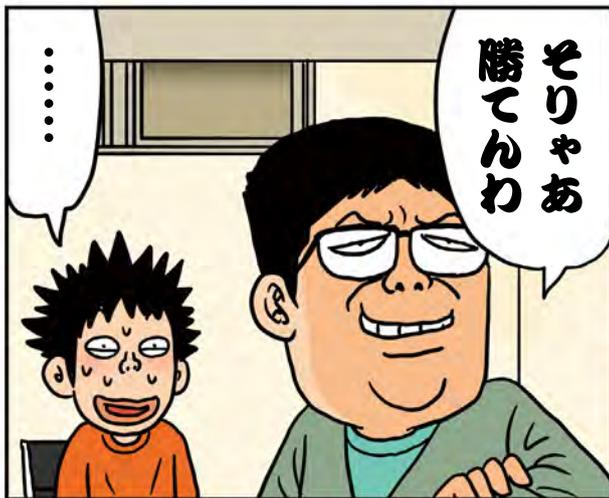
バカ林の

ハズレ過ぎたら、気持ちいい

ボート白々是好日

舟券耽溺作家 若林健次

マクルール編集部
会議室





つまり
②—①—③
の順番です



1点買いで
展開もハマリ
配当も割高…



気持ちいい
舟券ってのは
一体どんな…？



この舟券は
いつでも
めぐり会えるって
舟券じゃあない

2コースに
格上選手…
そしてちよつと
強めの追い風が
吹いた時…



そ…そりゃあ
当たれば気持ち
いいでしょうけど…

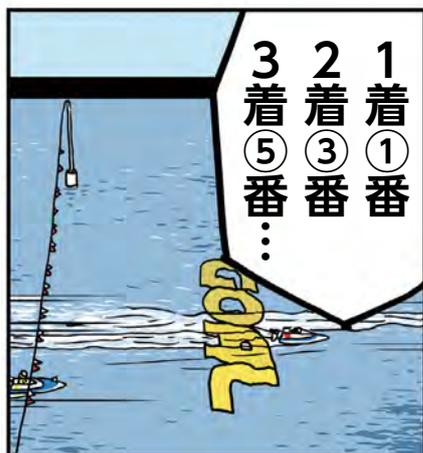
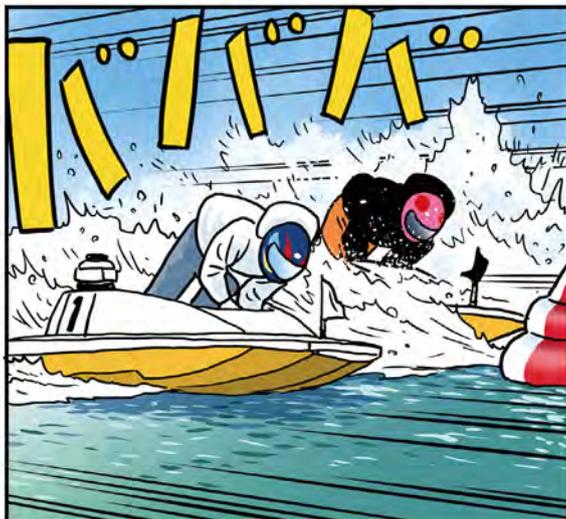


風が出て
きましたね

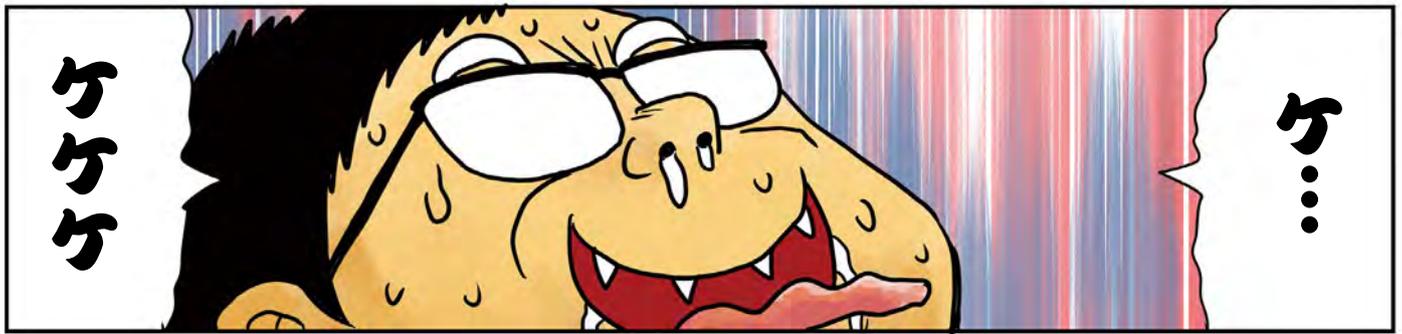


そんな条件が
そろった時だけ
運命の扉が開く

まるで織姫と彦星！
なんて気持ちのいい
舟券でしょう!!







ケケケ

ケ…



次②—①—③
 買って見ましようか？
 どうせ来ませんよ

ケケケ
 ちがってんだから！

……



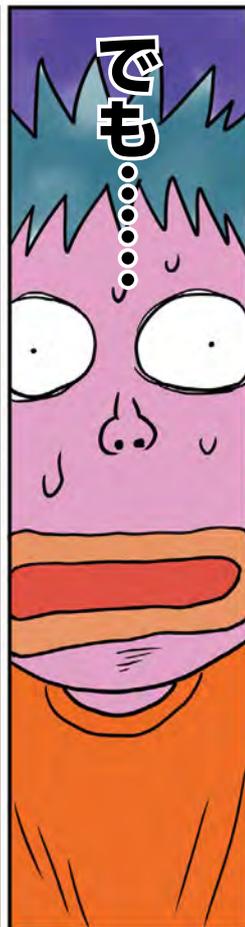
ほらね
 俺買わない時は
 当たるんだから
 ②—①—③



舟券愛好者は
 多かれ少なかれ
 痛いのも
 気持ちいい

俺のことは
 もっともっと
 ひどく描いて
 くださいな

私生活の不幸でも
 言いますか？



でも……



こ…壊れてる……！！